

## 2340 | 彫塑 V

2 単位（面接授業 2 単位）

脇谷徹教授、戸田裕介教授、山本一弥准教授

## 授業の概要と目標

「彫塑 I」の単位を修得していることを履修条件とする彫塑授業であり、モデルの頭部を観察して彫刻を制作します。

人体の頭部に象徴される自然界の奥深さ多様さの観察の結果として、あるいは観察をより進めるために粘土や石膏でかたちに置き換えていくということでは基本的には「彫塑 I」の上級展開の授業と位置づけられます。

生氣あふれる人体の一部として、モデル個別の全身動勢のもとで屹立する頸部に支えられる頭部の構造的な造形形体とはどのようにとらえられるのか。造形要素を探るための果敢な仮設立てとしての粘土や石膏による肉付けや削ぎ落としの反復試行は「見ること」とどのように関係するのか。粘土や石膏の量塊はそれらの周囲の空間をどのように性格づけていくのか。各自、積極的に取り組んでください。

履修条件を除く、シラバス記載の「課題の概要」「授業計画」（タイムテーブル）などは、「彫塑 I」の内容と同一ですが、「彫塑 I」の授業で体験し獲得した観察と造形の経験を下地にして、それらをさらに深めてください。

指導も立体・彫塑の基礎学習からさらに踏み込んだ専門的なものとなります。

## 課題の概要

## ○面接授業課題

人体モデルの「頭部」をモチーフとして、粘土及び石膏直付けにより制作します。

授業前半では粘土（塑造）により制作します。石膏型取り作業の後、石膏直付けにより継続して制作します。

## 授業計画

## [面接授業]

第 1 日	午前：前提講義 研究室の教育方針・課題内容・主旨の説明及び授業に必要な道具・材料の解説及び作業上の諸注意	午後：制作（塑造）
第 2 日	午前：制作	午後：制作
第 3 日	午前：制作	午後：石膏型取り作業 夜：石膏型取り作業（～ 18：30）
第 4 日	午前：石膏型取り作業	午後：石膏型取り作業 夜：石膏型取り作業（～ 18：30）
第 5 日	午前：清掃、制作（石膏直付け）	午後：制作
第 6 日	午前：制作	午後：清掃、講評・採点

## 成績評価の方法

完成作品と制作プロセス両方を、担当する全教員で評価します。

## 履修条件及び履修年次

[履修年次] 2～4 年次

[履修条件] 「彫塑 I」の単位を修得していること。

[備 考] 月刊誌『武蔵美通信』6 月号掲載のスクーリング受講に関する注意事項を熟読してください。

受講人数を制限する場合がある。

## 教材等

前提講義時に、参考作品等のスライド上映を行います。

## その他

授業初日より、必ず、作業着・作業靴（運動靴可）を着用してください。